

後期基本計画 平成 3 1 年度 政策方針書

政 策： 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長 齊藤 和博 上下水道部長 太田 城人
-----------------	------------------------------

1. 政策の実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	生活基盤を整備、維持することにより、子どもから高齢者までが、安全に安心して暮らすことができる、ひとにやさしいまちづくりを目指します。また、活力あふれるまちを目指し、交流と活力、雇用の拠点づくりを進めます。
--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成34年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.1	76	77	79	80	80	-
			-	-	-	-	-	0.0
2	幸福 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	79	80	80	-
			-	-	-	-	-	0.0
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成34年度	進捗率(%)
1	暮らし 04010000 活力ある都市づくりの推進 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.1	75.6	77.1	78.5	80	80	-
			-	-	-	-	-	0.0
2	幸福 04010000 活力ある都市づくりの推進 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	78	80	80	-
			-	-	-	-	-	0.0
3	暮らし 04020000 計画的な道路整備と維持管理 交通事故発生件数 単位 件以下	71	71	71	71	71	71	-
			-	-	-	-	-	0.0
4	幸福 04020000 計画的な道路整備と維持管理 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %以上	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	-
			-	-	-	-	-	0.0
5	暮らし 04030000 河川砂防・雨水排除施設の整備 浸水被害件数 単位 件	2	1	1	0	0	0	-
			-	-	-	-	-	0.0
6	幸福 04030000 河川砂防・雨水排除施設の整備 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	75	77	78	80	80	-
			-	-	-	-	-	0.0

後期基本計画 平成31年度 政策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長 齊藤 和博
	上下水道部長 太田 城人

2. 政策の実現に向けての現状を認識する

(1) 政策目標の進捗状況分析

- ・ビッグルーフ滝沢や滝沢中央スマートインターチェンジの整備により、交流や活力、雇用の拠点づくりに向けた環境が整いつつあります。
- ・滝沢市地域公共交通網形成計画が平成29年9月に策定され、今後は市民や関係部署、機関と連携して持続可能な具体の公共交通について検討するとともに利用促進を図る必要があります。
- ・上下水道は、市民生活に欠かすことのできない重要な生活基盤であり、将来にわたり安定的に事業を継続することが求められることから、事業経営の効率化を図りながら、施設整備や老朽施設の更新、耐震化等を計画的に進めています。

(2) 政策の実現に影響する社会環境変化

- ・国からの補助金・交付金は減少し少子高齢化が進展するなか、行政と市民が協働して事業を推進する体制づくりが必要です。
- ・消費税の増税や震災復興、オリンピック需要等から資材価格の高騰や人手不足、高齢化に伴うオペレーターの確保等に課題があります。
- ・東日本大震災以降も地震や豪雨等による災害が発生し、災害時のライフライン確保に対するニーズが高まっています。
- ・国による広域連携や官民連携の推進など、上下水道事業の基盤強化に向けた様々な取組が行われています。

3. 政策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 政策の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針

- ・交流と活力、雇用の拠点づくりに向けた土地利用関連事務について、熟度に応じて関係機関との協議・調整を進めます。
- ・度重なる豪雨等による浸水対策について、内水対策も含めた安全対策を検討・実施します。
- ・本市に相応しい持続可能な公共交通について、市民や関係部署、関係機関と連携しながら検討します。
- ・歩行環境の充実等安全な道路および河川環境の整備を着実に進めるとともに、今あるストックが安定し持続可能なものとするため地域の連携と中長期的視点による事業を展開します。
- ・持続可能な水道事業経営のため、市民との情報共有や共通理解に努めながら、コスト縮減と財源確保に取り組みます。
- ・安全で強靱な水道を目指し、水源保全や施設の適正な維持管理を行うとともに、老朽施設の更新と耐震化を推進します。
- ・効率的な汚水処理施設の整備と普及促進、適正な維持管理を行うとともに、経営戦略の見直しや下水道使用料の検証等を実施し、事業経営の健全化と基盤強化に取り組みます。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成31年度の重点課題

- ・中心拠点形成に向けて、土地利用計画に係る関係機関との協議調整及び関連する市道の整備
- ・小岩井駅前広場整備の事業推進
- ・準用河川仁沢瀬川改修事業の推進及び下水道(雨水)浸水対策事業の推進
- ・行政と市民が協働して事業を実施する体制づくりの推進
- ・老朽施設の更新と耐震化の推進及び既存水源の有効活用と緊急時のバックアップ機能強化に向けた連絡管等の整備
- ・老朽下水道施設の改築等による不明水対策の推進及び公共下水道の接続率向上のための取組

(3) 基本計画内方針及び平成31年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- ・中心拠点形成に向け、土地利用計画にかかわる関係機関との協議調整及び関連する市道の整備
- ・小岩井駅前広場整備の事業推進
- ・準用河川仁沢瀬川改修事業の推進及び下水道(雨水)浸水対策事業の推進
- ・行政と市民が協働して事業を実施する体制づくりの推進
- ・道路、河川の整備・維持管理・更新事業計画の着実な実施(交付金事業等)
- ・水道事業後期経営計画に基づく施設の更新整備、耐震化等の推進
- ・既存の水道施設、水源等の有効活用による新規投資と維持管理費用の抑制
- ・下水道事業の経営基盤強化に向けた維持管理コストの縮減及び安定収入の確保

